

株式会社 中央設計技術研究所

◎ 事業所概要

企業名:株式会社 中央設計研究所

代表者氏名:代表取締役 中辻 英二

所在地:金沢市

業種:建設コンサルタント業

労働者数:145人

◎ 行動計画

- | | | |
|---|------|-----------------------|
| 1 | 計画期間 | 平成22年1月1日～平成26年12月31日 |
| 2 | 内容 | |
| | 目標 | 年次有給休暇の取得のための措置の実施 |

◎ 目標達成の状況

「休暇取扱規定」に半日単位での取得に加え、1年度内において5日間を限度として、時間単位(2時間)で取得できる制度を導入。

◎ その他の取組の状況

- 育児・介護休業法を上回る育児休業制度等の整備
 - ・子が小学校就学前まで、所定外労働の免除、所定労働時間の短縮措置、フレックスタイム勤務制度、在宅勤務制度を選択することができる。
 - ・福利厚生サービス代行会社と法人契約を締結し、ベビーシッターサービスを含む福利厚生サービスメニューを利用することができる。
 - ・子の看護のための休暇制度を年5日間、特別有給休暇扱いとしている。
 - ・計画期間中の育児休業者は女性5名、子の看護休暇の男性利用者は2名の利用実績がある。
- 年次有給休暇取得促進のための措置
 - 取得率向上のため、計画的付与を実施。さらに夏季・GW休暇等の連続休暇(最大9日間)を就業規則に規定し、取得促進を図っている。
- 働き方の見直しに資する多様な労働条件の整備
 - 「コース選択規程」を設け、家庭の事情、将来の生活設計に応じて勤務地や転勤の有無の選択を可能としている。

企業からのひとこと

○ 行動計画に基づく取組の効果・課題

実施に当たり、育児に直接かかわっていない社員のワークライフバランス(仕事と生活の調和)についても推進するため、年次有給休暇の取得促進や所定外労働の抑制について力をいれました。その結果、社員がいきいきと働くことができる職場の雰囲気づくりができたと考えています。

仕事と生活の調和を図るための諸制度は整備されておりますので、今後は積極的な利用の促進が必要であると考えています。

特に、男性社員が長期間の育児休業を取得するよう、制度をタイムリーに周知していきます。

○ 子の看護休暇を取得した男性従業員の声(管理本部・39歳)

子供が入院する際に保護者の付き添いが必要でした。

小さい子供がもう一人いた為、私が病院で付き添うことになったのですが、その際に「子の看護のための休暇制度」を有効に活用し、休暇を取得しました。

子育てをしていく中で、子供の怪我、病気は良くあることで、年次有給休暇とは別に「子の看護」の為に休暇を取得できるのは、非常にありがたい制度だと思えます。

社内で未就学児の父親は他にもたくさんいますので、この制度が有効に活用されるよう周知していきたいと思えます。